

メニューを書くための作文講座 第5課 過去分詞

1. 過去分詞

1. 過去分詞の機能

メニューを書くときに必要な過去分詞の機能を紹介します。

動詞の不定形（例：marinare「マリネする」）を過去分詞（例：marinato）にすることで、「～する」という動詞が「～された」という意味の形容詞となります。

動詞の原形	動詞の過去分詞形	例
marinare マリネする	marinato マリネされた	Salmone marinato マリネされた鮭 → 鮭のマリネ

ここから転じて、過去分詞の中には料理名（名詞）として使われるものもあります。

過去分詞	名詞（料理名）	例
friggere 揚げる	fritto 揚げられた物	Fritto misto ミックスの揚げ物 → ミックスフライ

(以下略)

【練習問題5】

1. 次の日本語に合わせ、()の動詞を過去分詞にしてメニューを完成させなさい。

例	牛肉の蒸し煮	Manzo (brasare)	Manzo brasato
---	--------	-----------------	---------------

(以下略)

2. 日本語を参考に、次のメニューの間違いを正しなさい。

	日本語	誤	正
例	揚げたパン	Pane fritte	Pane fritto

(以下略)